

# TKS report vol.16

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY

第109期中間報告書

2014年3月1日～2014年8月31日

株式会社 **東京衡機**

**TOKYO KOKI CO. LTD.**

【東証2部上場（証券コード7719）】

## ■ トップメッセージ/企業理念



## contents

トップメッセージ/企業理念	1
決算ハイライト	2
事業内容	3
事業の概況	4
特集 無錫三和塑料製品有限公司のご紹介	5
第2四半期(累計)連結財務諸表(概要)	7
トピックス	9
株式情報/会社概要/役員等	10



代表取締役社長  
山本 勝三



平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第109期上半期(2014年3月1日～8月31日)は、本年4月に消費税率が8%に引き上げられ、それに伴う駆け込み需要の反動により個人消費や企業の設備投資に一時的に成長の鈍化が見られましたが、デフレ脱却と日本経済再生に向けた政府の各種経済対策などを背景に緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、この第109期にグループの成長・発展の礎を築くべく、グループマネジメント機能の強化を図り、スピード感のあるグループ経営を実行するために、試験機事業、住生活事業、ゆるみ止めナット事業の各事業についてグループ企業間の連携を深め、とりわけ営業・サービスの協力

体制の充実・強化に努めました。

当上半期の業績につきましては、前連結会計年度における試験機事業の受注増加が売上高増加に貢献したものの、消費税率引上げ後の反動減の影響もあって、国内については全般的に低調に推移いたしました。

今後の見通しにつきましては、駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れ懸念など先行きはやや不透明ですが、大手製造業を中心に企業収益が改善しており、設備投資の増加により当社の事業環境の改善も期待されますので、グループ全体として黒字転換を果たすべく、全力を挙げて業績の改善・向上に取り組む所存であります。

皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**TKS**  
TOKYO KOKI

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY  
「技術と知識で豊かな社会の実現に貢献する」

技術への挑戦と  
顧客からの信頼

常にお客様の立場に立ち、  
“価値ある商品”を提供します。

人間性の尊重

一人ひとりの“能力・意欲・創意を  
尊重する”とともに、やさしさと  
温かみのある人間集団を目指します。

地域社会への貢献

日々の誠実な活動を通じ、  
地域からも“信頼される  
企業市民”であり続けます。

## 決算ハイライト

### 第109期第2四半期累計期間 (2014年3月1日～2014年8月31日)

	連結業績	個別業績 (当社単体)
売上高	2,861百万円 (前年同期比 1.5%)	1,148百万円 (前年同期比 △1.5%)
営業利益	11百万円 (前年同期比 ー%)	△46百万円 (前年同期比 ー%)
経常利益	△2百万円 (前年同期比 ー%)	△37百万円 (前年同期比 ー%)
四半期純利益	△76百万円 (前年同期比 ー%)	△117百万円 (前年同期比 ー%)
1株当たり四半期純利益	△1円07銭	△1円64銭

※△は損失を示しております。

当第2四半期連結累計期間は、試験機事業では、企業の設備投資の増大傾向と軌を一にして受注環境に改善の傾向が見られました。受注生産主体である当社単体については年初4ヶ月間の特殊試験機の受注低迷の影響を主因に売上高は計画を下回ったものの、子会社である(株)東京試験機は万能試験機等の標準的製品を主体に受注高、売上高ともに好調であり、事業全体としてはほぼ計画通りの結果となりました。

住生活事業では、国内では目立った新規商品がなく健康関連商品等の販売も低調に推移しましたが、中国江蘇省無錫市の子会社での日本や欧米をターゲットとした家具部品の製造・販売が軌道に乗り好調であったことから、事業全体の売上高は若干の計画未達にとどまりました。

ゆるみ止めナット事業では、主力製品であるハイパーロードナットの鉄道や高速道路施設等での受注拡大が続いていますが、商社向け販売がなかったことや締結具付属品等のその他の商品の販売も落ち込んだことから、売上高、損益ともに計画を大幅に下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の連結業績および個別業績は上記のとおりとなりました。

### 業績のポイント

- ①試験機事業は、標準的製品の受注・売上が堅調で、ほぼ計画通りに推移
- ②住生活事業は、中国無錫の子会社の家具部品の製造・販売が好調
- ③ゆるみ止めナット事業は、ハイパーロードナットの受注は拡大しているものの、当第2四半期累計期間の販売にはつながらず、売上・利益ともに低迷

## ■ 業績の見通し (2014年10月14日の業績予想公表時点)

### 第109期 (2014年3月1日～2015年2月28日)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結業績	通期	5,888百万円	92百万円	76百万円	20百万円
個別業績 (当社単体)	通期	2,400百万円	△91百万円	△80百万円	△146百万円

## 事業内容

1923年創業の伝統と高い技術力を誇る試験機事業をはじめとして、  
画期的なアイデアで社会に安心と安全を提供するゆるみ止めナット事業など、  
技術と知識で豊かな社会の実現に貢献すべく、  
様々な事業を展開しています。

### 試験機事業

試験機の開発・設計・生産からメンテナンス・  
校正まで高度な技術力によりワンストップ  
ソリューションをご提供しています。



試験機事業

### 住生活事業

中国子会社の金型成型技術を活かし  
暮らしやライフスタイルに関わる生活用品や  
アパレル関連商品等の企画開発、製造販売、  
各種サービスのご提供を行っています。



住生活事業

**TKS**  
TOKYO KOKI

Technology And Knowledge enrich Society

ゆるみ止め  
ナット事業

### ゆるみ止めナット事業

グループ企業の株式会社KHIが画期的なアイデアと独自の技術で開発したゆるみ防止スプリングを内蔵したナットとナットの脱落を防止するスプリングを製造・販売しています。



アジア地域における拠点



KHI

TTM  
東京試験機

TTC  
テークス  
テレコム

TTS  
東京衛機  
試験機サービス

TKS  
東京衛機



## 事業の概況

当社グループは、中長期的な経営戦略として、①試験機事業のブランドイメージの強化、②新規事業への積極的参入と収益力の強化、③海外市場への展開を掲げ、以下のとおり事業を展開しております。

### 1 試験機事業の ブランドイメージの強化

### 2 新規事業への積極的参入と 収益力の強化

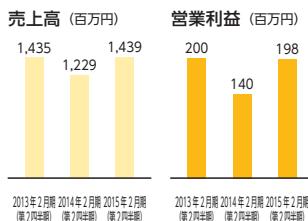
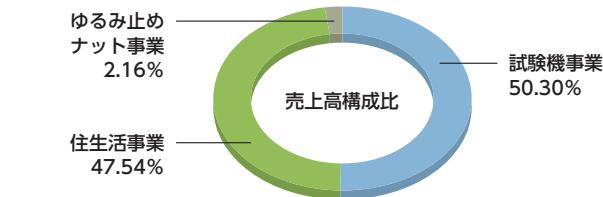
### 3 海外市場への展開

TESTING MACHINE  
BUSINESS

#### 試験機事業

売上高 1,439百万円

営業利益 198百万円



当上半期は、グループ各社の連携による製品とサービスの一体営業など引き続きグループのシナジー効果を追求しつつ、国内外の代理店営業活動の支援強化や提携先である独Zwick社とのソフト面でのサービスの連携強化等の取組みを中心に営業展開をするとともに、新たな動力計コントローラーの開発など標準品のラインナップの充実や付加機能の開発に取り組みました。



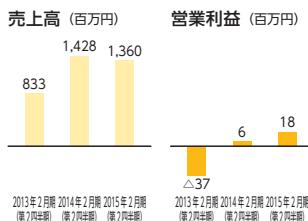
#### Testing Machine Business

LIVING & LIFESTYLE  
BUSINESS

#### 住生活事業

売上高 1,360百万円

営業利益 18百万円



当上半期は、日本国内における一般消費者向けの健康関連商品や波形手すりなどの取扱いが伸び悩み、その他の商材についても計画を大幅に下回りましたが、中国無錫の子会社での日本や欧米向けの家具部品の製造・販売が好調で、上海の子会社の業績も堅調に推移したことなどから、事業全体の売上高は計画をやや下回るにとどまりました。



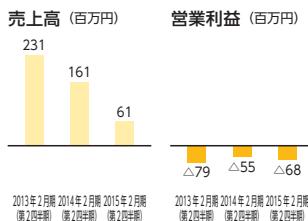
#### Living & Lifestyle Business

NOT LOOSENING NUTS  
BUSINESS

#### ゆるみ止めナット事業

売上高 61百万円

営業利益 △68百万円



当上半期は、国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」に登録されている製品類（ナット、スプリング）の道路・鉄道関係業界からの引合い・受注は増加しましたが、売上高については計画を大幅に下回り、生産設備を主とする固定資産の減損により費用は減少しているものの、黒字化は実現できておらず、当事業の継続に向けて抜本的な構造改革を検討しております。



#### Not Loosening Nuts Business

※△は損失を示しております。

TKS  
report vol.16



—特集—

無錫三和塑料製品有限公司のご紹介

今回は、当社グループの中国展開の主要拠点である無錫三和塑料製品有限公司をご紹介します。

## 中国有数の経済・観光都市「無錫市」に所在

無錫三和塑料製品有限公司は、中華人民共和国江蘇省の南部に位置する無錫市に拠点を構えています。無錫市は長江デルタ地域に位置し、小さな河川が無数に流れる江南の水郷都市です。東の上海からは128km、西の南京からは183kmの距離で、1978年の改革開放以降、急激に工業が発展し、日本企業も多く進出しています。

無錫という名称の由来については、春秋戦国時代の呉文化の発祥の地の一つで元来は錫（すず）が多く産出される「有錫」という名の鉱工業都市だったが、漢時代の初めまでに掘り尽くされてしまい、以来「無錫」と呼ばれるようになったと言われています。

無錫市街は古い城壁都市で、中心を隋時代以来の大運河が貫き、南の浙江省との境界にある太湖は豊富な水産物に恵まれ、古来より「魚米之郷」とも称されています。



高層ビルから見た無錫駅



中国五大湖の一つである太湖



観光スポット「水滸城」

## 2006年（平成18年）に子会社化



無錫三和塑料製品有限公司は、1994年（平成6年）に射出成形金型や家電部品等のプラスチック射出成形品の製造販売を行う会社（登録資本金は237.5万米ドル）として設立されました。同社は、設立以来、成形から組立に至る一貫した生産体制を強みとして、優秀な人材による積極的な営業活動と質の高い豊富な労働力を背景に日系の大手家電メーカーをはじめとする中国内外の優良な顧客との取引を着実に拡大してきました。2006年（平成18年）には、当社の連結子会社となり、住生活事業の中国における重要な拠点として連携を深め、2010年（平成22年）には、設立以来培ってきた生産技術と品質管理能力を活かして家電製品のODM（Original Design Manufacturing）生産を主体とする子会社（無錫特可思電器製造有限公司）を新設し、移動式空調機器や除湿機など家電製品の設計・製造まで手掛けるようになりました。



正面入口



射出成形ライン



製品検査ライン



オフィスチェア生産ライン

## グループ間のさらなる連携強化へ

無錫三和塑料製品有限公司は、ここ数年無錫特可思電器製造有限公司とともに中国国内や欧米の市場をターゲットとして家電、家具部品の製造販売に取り組んでおり、前連結会計年度あたりからその成果が現れてきました。当社としては、今後も世界経済において重要な位置を占める中国マーケットへの展開を視野に入れ、住生活事業だけでなく、試験機事業やゆるみ止めナット事業でもグループ間の協力関係を深めていくことを検討しています。

第2四半期（累計）連結財務諸表（概要）（単位：百万円、単位未満切捨て）

四半期連結貸借対照表

科目	前第2四半期末 2013年8月31日現在	当第2四半期末 2014年8月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	3,394	3,465
現金及び預金	960	1,098
受取手形及び売掛金	1,339	1,420
たな卸資産 1	986	780
繰延税金資産	11	10
その他	135	184
貸倒引当金	△ 38	△ 28
固定資産	1,888	1,676
有形固定資産 2	1,533	1,296
無形固定資産	213	143
繰延税金資産	17	29
投資その他	418	578
貸倒引当金	△ 294	△ 370
<b>資産合計</b>	<b>5,283</b>	<b>5,142</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,841	2,119
固定負債	1,465	1,460
<b>負債合計 3</b>	<b>3,307</b>	<b>3,579</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本 4	1,413	1,019
その他の包括利益累計額	562	543
<b>純資産合計</b>	<b>1,976</b>	<b>1,563</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,283</b>	<b>5,142</b>

**Point1** たな卸資産

主にゆるみ止めナット事業の在庫品等の事業再編損や評価損の計上により、前第2四半期末に比べ2億5百万円減少しております。

**Point2** 有形固定資産

前期末における中国子会社の固定資産に係る減損損失の計上ならびに減価償却費の計上により、前第2四半期末に比べ2億37百万円減少しております。

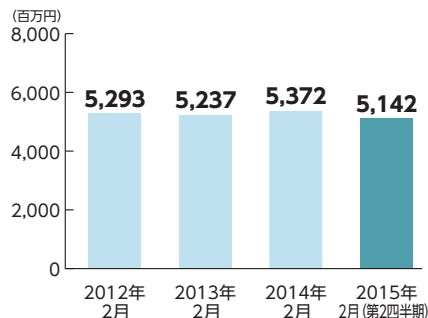
**Point3** 負債合計

長・短期借入金の増加2億3百万円、退職給付引当金の増加43百万円などにより、前第2四半期末に比べ2億71百万円増加しております。

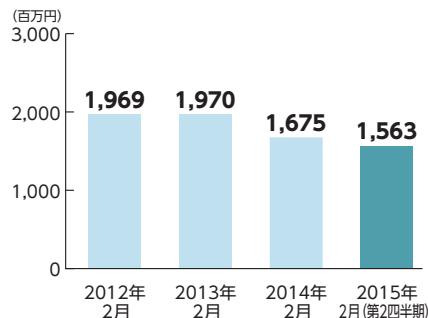
**Point4** 株主資本

当第2四半期は76百万円の純損失で、前下半期も固定資産の減損損失計上等により大幅な純損失であったことから、前第2四半期末に比べ4億12百万円減少しております。

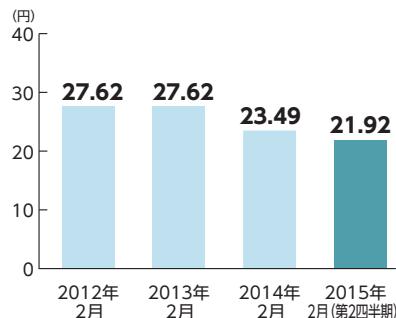
総資産



純資産



1株当たり純資産



## 四半期連結損益計算書

科目	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)
	2013年3月1日～2013年8月31日	2014年3月1日～2014年8月31日
売上高 <b>5</b>	2,820	2,861
売上原価	2,184	2,166
売上総利益 <b>6</b>	635	695
販売費及び一般管理費	663	684
営業利益又は営業損失 (△)	△ 28	11
営業外収益	17	26
営業外費用	55	40
経常損失 (△)	△ 66	△ 2
特別損失 <b>7</b>	4	33
税金等調整前四半期純損失 (△)	△ 70	△ 35
法人税等	33	40
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△ 104	△ 76
四半期純損失 (△)	△ 104	△ 76

### Point5 売上高

売上高は前第2四半期に比べ41百万円増加しております。試験機事業は2億9百万円増加するも、住生活事業が68百万円減少、ゆるみ止めナット事業が1億円減少となっております。

### Point6 売上総利益

売上総利益は、主に試験機事業の売上高増加により、前第2四半期に比べ60百万円増加しております。また、売上総利益率は1.8ポイント改善し、24.3%となっております。

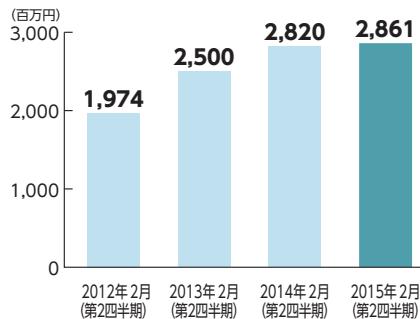
### Point7 特別損失

ゆるみ止めナット事業における在庫品等の使用・処分方針の見直しによる事業再編損などを計上しております。

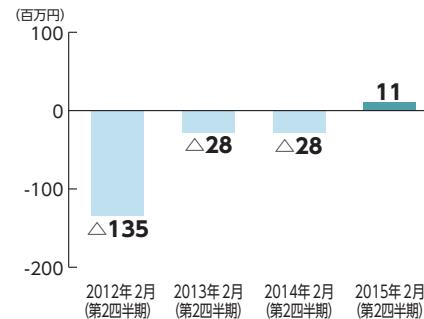
## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)
	2013年3月1日～2013年8月31日	2014年3月1日～2014年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	193	169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 74	△ 13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 92	112
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	△ 12
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	49	256
現金及び現金同等物の期首残高	866	787
現金及び現金同等物の四半期末残高	916	1,044

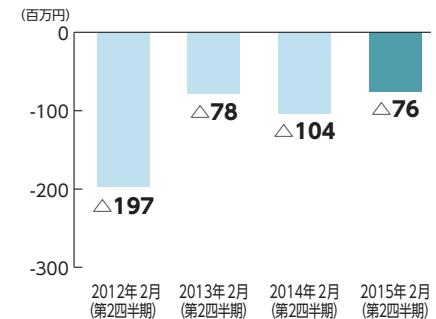
## 売上高



## 営業利益



## 四半期純利益



※△は損失を示しております。

## トピックス

### 「上海共同計測・試験設備展示会」等への出展

当社は、2014年9月3日～4日の2日間、中国上海市の上海世貿商城（上海マート）において開催された「上海共同計測・試験設備展示会」に平面曲げ疲労試験機PBFを出展いたしました。本展示会は、試験・計測機器の総合商社である電計貿易（上海）有限公司が主催する大型展示会で、世界各国の優秀な計測機器、測定工具、分析機器、各種性能・環境試験設備などを一堂に集め、中国国内とりわけ長江デルタ地帯の上海市、江蘇省、浙江省の電器、電子、自動車関連の製造・研究開発を行う外資系企業をターゲットとし、展示会場では関連セミナーも併せて開催され、連日多くのお客様が来場されました。また、当社は、9月15日～17日の3日間、中国上海光大会展中心において開催された自動車のテスト・測定・評価の関連機器メーカーおよびサービスプロバイダの最新技術の展示会「Automotive Testing Expo China 2014」内で行われた「自動車測定共同展」にも当社試験機等を出展し、今後も大きな需要が期待される中国市場に当社グループの製品・技術を積極的にPRいたしました。



上海マート



共同計測・試験設備展示会



Denkeiセミナー会場



自動車測定共同展

### 新型動力計コントローラのリリース

当社は、今般、水動力計用コントローラLDC-2000と渦電流動力計用コントローラLEC-2000を新たにリリースいたしました。これらのコントローラは動力計用の制御装置で、計測部や制御部等がコンパクトに一つのパネルに納められています。また、外部の制御システムと容易に接続することができ、運転の自動化と更なる省力化が図られました。

新型コントローラの特長は以下のとおりです。

- ①PLC・タッチパネルを使用したデジタル制御コントローラ  
各種表示、目標値設定、モード切換え、PID設定等をデジタル化しました。
- ②レトロフィットが容易  
当社の従来型コントローラとの交換が簡単にできます。
- ③安全対策等の機能の充実  
非常停止ボタンを標準装備し、トルク・パワーの上限警報を追加する等新たな機能を搭載しました。



LEC-2000



LDC-2000（背面）



主要画面

## 株式情報 (2014年8月31日現在)

### ● 株式の概況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数*	71,337,916株
株主数	3,568名

※上記の発行済株式の総数には、自己株式24,785株を含みます。

### ● 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社A.Cホールディングス	27,379千株	38.39%
オカザキファンド投資事業 有限責任組合	5,242千株	7.35%
あいおいニッセイ 同和損害保険株式会社	1,350千株	1.89%
岡崎 由雄	1,050千株	1.47%
株式会社M.O.Cグループ	1,000千株	1.40%
前田 喜美子	497千株	0.69%
田崎 功	383千株	0.53%
中束 文和	345千株	0.48%
日本証券金融株式会社	316千株	0.44%
早坂 天	287千株	0.40%

※持株比率の算定においては、発行済株式より自己株式(24,785株)を控除しております。

### ● 株式の分布状況



● 事業法人等	34,608千株	48.51%
● 個人・その他	33,405千株	46.83%
● 金融機関	1,899千株	2.66%
● 証券会社	930千株	1.30%
● 外国法人等	469千株	0.66%
● 自己名義株式	24千株	0.04%
合計	71,337千株	100%



● 1単元未満	192名	5.38%
● 1単元以上	2,046名	57.34%
● 5単元以上	491名	13.76%
● 10単元以上	693名	19.42%
● 50単元以上	79名	2.22%
● 100単元以上	67名	1.88%
合計	3,568名	100%

## 会社概要 (2014年8月31日現在)

商号	株式会社東京衡機 (旧社名：株式会社テークスグループ)
本社所在地	神奈川県相模原市緑区三井315番地
登記上の本店	東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
創立	1923年(大正12年)3月20日
資本金	27億1,355万2,013円
従業員数	91名(連結463名)
事業内容	試験・計測・計量機器、ロードセル、圧力検出器、歪ゲージ、トルク検出器等のセンサー類その他の関連機器の製造・販売、受託試験 プラスチック成型品、木工品、射出成型用金型の製造・輸入・販売、健康関連商品の販売、ゆるみ止めナットの販売
建設業許可	国土交通大臣許可(般-25)第17917号

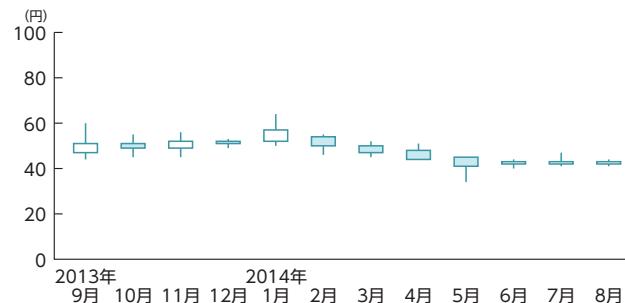
## 役員等 (2014年8月31日現在)

代表取締役会長	石川 隆一
代表取締役社長 (兼 住生活事業担当執行役員)	山本 勝三
常務取締役 (兼 試験機技術部門担当執行役員)	佐藤 良則
取締役 (兼 試験機営業部門担当執行役員)	川松 満
取締役 (兼 デバイス事業担当執行役員)	平田 真一郎
常勤監査役	遠藤 栄一
監査役 (社外監査役)	菅野 善則
監査役 (社外監査役)	高吉 廣美
監査役 (社外監査役)	藤田 泰三

会計監査人

新日本有限責任監査法人

### ● 株価の推移



## 株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主 確定日	2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同上連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部
公告の方法	電子公告 (掲載 URL <a href="http://www.tksnet.co.jp">http://www.tksnet.co.jp</a> ) (ただし、電子公告によることができない事故その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取・買増請求その他の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問い合わせください。同行全国各支店でもお取次ぎいたします。

東京衡機ホームページ  
<http://www.tksnet.co.jp/>

IR情報はここからご覧いただけます。



### ロゴマークについて

“技術力” “獨創性” “人” “伝統” 全てをリンクさせ、一丸となって新しい時代へ向かう東京衡機の姿を表現するため、「青」「赤」「緑」「紫」を「光のイメージ」に展開しています。

#### 青：東京衡機の技術力

真っ青な海や空を眺めていると不思議と心が安らぎ、ポジティブな気持ちになります。そのことから「青」は冷静、自立、希望を象徴し、また知性、誠実のイメージをもつ色といわれています。次代のシーズを冷静に判断し、お客様のご要望に的確に応えるため、あらゆる知性を集約した、東京衡機の“技術力”を「青」で表現しています。

#### 赤：東京衡機の獨創性

万物に恵みを与えてくれる太陽の色「赤」は、外へと向かうパワーを感じさせます。

情熱、エネルギー、ダイナミック、活動的なイメージがあり、幸運を招く色としても知られています。新しい次代へ挑むエネルギーとなる、東京衡機の“獨創性”を「赤」で表現しています。

#### 緑：東京衡機の人

自然の美しさや木々の芽吹きを連想させる「緑」は、すがすがしさ、新鮮さ、新しい可能性、生命力を象徴する色です。いつまでも新鮮で、新しい可能性に満ち、時代を乗り越える生命力を備えた東京衡機の財産“人”を「緑」で表現しています。

#### 紫：東京衡機の伝統

染料の入手が困難なこと、染め出す技術が高度なことより、古来から「紫」は高貴な色として崇められ、また伝統、古典のイメージをもつ色です。1923年創業という長い歴史を誇る、東京衡機の“伝統”を「紫」で表現しています。

株式会社 **東京衡機**  
**TOKYO KOKI CO. LTD.**  
(旧社名：株式会社テークスグループ)

本店

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地  
TEL 03-5207-6760 FAX 03-5298-1802

本社・相模工場

〒252-0151 神奈川県相模原市緑区三井315番地  
TEL 042-780-1650 FAX 042-784-6094



環境に配慮した植物油インキを使用しております